



# 中筋小学校だより

校訓 ～ 強い身体 正しい心 ～

舞鶴市立中筋小学校

学校だより 3月号

令和6年2月29日発行

<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>

☎75-0372

学校HP



## 夢をあきらめない ～門出を迎える～



3月を迎えます。3月は中学校への進学やそれぞれ学年が1つずつ上がる進級の準備をする月です。進学や進級を迎えるにあたって、励ましの言葉として「夢」という言葉をよく使います。「夢を抱く」ことは人生の道標となり、行動を律したり、勉学への意欲を高めたりするためにとても大切なことだと考えます。小学生の子どもたちもそれぞれに夢を抱き、その夢に向かって日々努力する姿はありますが、それはまだまだ漠然としたものであることが多く、確固たる夢を持ち、それを実現させるための具体的な努力をしている子は少ないかもしれません。スポーツをしている子は、スキルのなトレーニングを練習日以外でも自主トレに励み、一步でも夢に近づくための練習を積んでいることでしょう。スポーツにおいて、夢を実現させるためには、スキルのなトレーニングだけでは足りないことを具体的に示してくれたのが、今や世界的な選手になった大谷翔平選手です。かの有名な「大谷ノート」では、スキルの要素だけではなく、「体づくり」「メンタル」「人間性」に加え、「運」までもその達成要素に加え、日々努力をしていたことは、今ではよく知られている話です。

その「大谷ノート」の中にはありませんが、このことも夢の実現には必要だと思ふことがあります。「あきらめない」ということです。きっと大谷選手は、どんなことがあろうとも揺らぐことのない夢であったために、「あきらめない」という要素は必要なかったと思うのですが、多くの方は、なかなか思い通りにいかなくと夢をあきらめてしまうことがあると思ひます。



夢をあきらめず、人生の成功を勝ち取った人にカーネル・サンダースがいます。カーネル・サンダースといえば、全世界に店舗を持つケンタッキーフライドチキンの創業者として有名ですが、彼は若いころから職業を転々とし、50歳の時に苦勞の末生み出したフライドチキンが人気のレストランを開きます。途中には火災にあたりしながらも店を大きくしていきましたが、65歳の時、立地の変化により、レストランを手放すことになり、全財産を失います。残ったのはわずかなお金と車とフライドチキンのオリジナルレシピのみ。そんな状況下でも、幼いころに抱いた「おいしいもので人々を幸せにしたい」という夢をあきらめず、自分が作り出したオリジナルレシピを全米のレストランに売り込みに回ります。断られても断られてもあきらめず、1010回目にしてようやく契約を結ぶことができました。その時、彼の年齢はすでに70歳を越えていました。そうして今や全世界125の国と地域で1万9952店舗を展開する「ケンタッキーフライドチキン」に成長していきました。店舗の前でやさしい笑顔でお客さんを出迎えるサンダースおじさんですが、壮絶な苦勞を経験しながらも、何歳になっても夢をあきらめずに実現させた偉人としてみると、お店に入る前に立ち止まってその顔をじっくりを眺めてしまうかもしれませんね。

いよいよ今年度を締めくくる3月が始まります。それぞれが新しいステージへの門出となります。子どもたち一人一人が抱く夢(目標)への挑戦をしっかり後押しできるように、最後まで粘り強く可能性を引き出し、伸ばしていきたいと思ひます。今月も変わらぬご支援をよろしくお願ひいたします。

校長 亀井 敬介 教職員一同

### 水島彦一郎文庫の開設

150周年記念事業の一つとして、学校図書の実を目的にご寄付していただいたお金で新書を520冊購入させていただきました。多目的ルームの後方の本棚に新しく購入した本を並べ、そのスペースを「水島彦一郎文庫」として、読書に親しめる空間を作りました。2月21日(水)には、水島彦一郎氏のお孫さんである大寺由紀子様に来校いただき、開設式を行いました。読書は、心を豊かにする大切な教育活動です。これを機会にますます読書好きの子どもたちを育てていきたいと思ひます。来校された際には、ぜひ「水島彦一郎文庫」にお立ち寄りください。



※水島彦一郎氏：本校の校歌の歌詞を考えられた人。旧舞鶴市長であり、元衆議院議員。

1882年(明治15年)11月1日～1953年(昭和28年)2月13日